

## 「自殺予防とうつ病」

精神科 喜井 大

7年連続で年間自殺者数が3万人台（毎日約90人が自殺している計算）なのを（存知ですか？）さらに自殺未遂者はこの10倍はいるといわれ、既述・未遂自殺が1件生じるとその家族や友人の最低5人は深刻な心理的影響を受けます。自殺は自殺者だけの問題ではなく、年間百数十万人に深刻な影響を与える問題です。

自殺予防は急務ですが、個人的な要因はもちろん社会的・経済的要因の影響もあり、医療のみで対応できるものではないとされています。しかし、うつ病による自殺が多いことは知られており、一説には自殺者の50%がうつ病だったともいわれています。

うつ病は15人に1人が生涯に一度はかかるといわれますが、うつ病にかかっている人の1/4程度しか受診せず、残りの3/4は医療を受けていません。うつ病は十分な休息とお薬（抗うつ薬）でよくなるので、死にたい気持ちがなくならないことが多く、うつ病を早く見つけて治療に結びつけることで自殺を減らせるものと思います。うつ病で見られやすい症状に当てはまるようでしたら御相談ください。



＊うつ病で見られやすい症状の例  
 気分が低下：気分が沈む、涙もろくなる、自分を責める、自殺したくなる

意欲の低下：仕事や手につかない、集中力がなく、関心があつたことに興味を失う  
 生命力の低下：食欲不振、体重減少、不眠、疲れやすい

### 部署だより

#### 外来受付

B外来には、内科・循環器科・消化器科・呼吸器科・泌尿器科・放射線科・麻酔科があります。他の受付と比べてたくさん診療科があり、朝の受付周辺はいつもにぎやかで、初めてB外来へ来られた方はビックリされることと思います。

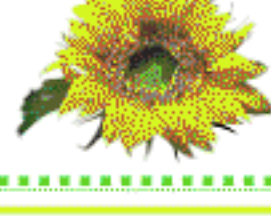
朝の混雑を少しでも緩和するために、カウンターに向かって右側は、診察前に検査（採血・採尿・レントゲンなど）のある予約の患者さんを受付の順番にお呼びしています。左側は、検査のない予約患者さんと予約のない患者さんをご案内しておりますので、朝は左右に並んでいただけたらスムーズにご案内できる事と思います。

B外来の特徴は検査が多いことです。採血・採尿・胃カメラ、大腸ファイバー、気管支ファイバー、

エコー（心臓など）、CTなどの検査となっております。胃カメラに限っては、当日の予約枠が空いている時には、その日のうちに検査ができる場合があります。予約の患者さんが多く、検査結果を待つ時間が長く、お待たせすることなどありますがご了承ください。わからないことなどありましたら、どうぞお気軽に窓口にお声かけください。



外来患者数	17,252人
新患者数	2,062人
紹介患者数	332人
新入院患者数	492人
新退院患者数	480人
平均在院日数	18日
救急車・時間外患者数	1,380人
手術件数	171件



## くすのき委員会だより

くすのき委員会は、患者さんへのサービスの向上を目的として活動しています。

6月からは、個人情報保護・患者満足度調査・待ち時間の検討グループを立ち上げました。本格的な活動はこれからですが、日々の業務と並行して、できることから活動していきたいと考えています。グループの活動内容についてもこの紙面上で報告し、利用しやすいけんみん病院につなげていきたいと思います。



### 急患の方への電話の対応について

●急患の方の電話による受診相談については、症状のお伺いや緊急性の判断など、受診への対応をする担当（看護師）を配置し、速やかに連絡のとれる体制にしました。

### 医療費の支払について

- 現金自動支払機は、現在の支払システムでは情報を現金自動支払機に送信できず、送信させるには莫大な費用が必要です。今後、電子カルテへの導入を考えており、このときに設置を考えます。
- クレジットカードによる支払については、金融機関のキャッシュカードで支払のできるデビットカードを含め、導入を前向きに検討していきます。導入のためには、県の規程の改正、医療費の入金処理システムの変更のほか、カードの利用手数料を病院で負担するための手続などの課題がありますが、一つずつ解決しながら進めていきたいと思います。

### 屋上の禁煙について

●屋上の禁煙について色々なご意見をいただき、中には「病院も内心許しているのでは？」というご意見もありました。実際に屋上では、夜間・早朝に喫煙したと思われる吸い殻が目立ちます。院内でも「18:00～8:00までは屋上の扉を施錠し、喫煙できないようにする」「夕涼みをしたり朝の空気を吸ったりできなくなるので、施錠すべきでない」など意見が分かれ、非常に苦慮しています。禁煙に対するご意見、良い解決法などありましたら、ご意見をお寄せください。今後の参考にさせていただきます。



### ご意見の集計

17年5月13日～17年5月30日回収分

#### 接遇について(9件)

- ・急患で電話するととらいまわしにされた。
- ・あごが外れて電話をすると、担当診療科の医師が手術中のため、他の病院を勧められた。その病院に電話をすると、口腔外科になると言われ、その病院でも診てもらえず、けんみん病院を含む2つの医療機関を紹介された。自分の病院のことくらいは把握してほしい。（申し訳ありませんが、当院にも口腔外科はありません）
- ・妊娠して初めての超音波写真をほしいと言くと、「まだ人間らしくないので、かわいときの写真をあげましょう」と言われて傷ついた。
- ・薬剤科のカウンターにベルを置いてほしい。カウンター内での会話は、患者を無視しているように見える。薬の説明は、もっとはっきりと言ってほしい。
- ・放射線技師に愛想がない。
- ・時間外診療を受けた時、事前に電話して行ったら人がすぐたくさんいた。電話の時に知らせてほしい。
- ・小児科受診時に子供が吐いたので、D受付で「看護婦さんをお願いします」と頼んだら不機嫌そうにされた。
- ・けがをして受診した時、出血が止まらないので早く受診できるように何度も伝えたが、何もしてもらえないまま1時間待たされた。
- ・朝、看護師に「カーテンを開けてほしい」と頼むと、「いま来たところ」と言われた。

#### 待ち時間について(5件)

- ・これまでの回答を見て、会計のご意見への回答（No.446,479）は聞き直ってはいやしないか？
- ・診察で65分待ち、会計で40分待ち。何とかしてほしい。
- ・治療はなく薬だけのときは、何度も待たなくてすむようにしてほしい。
- ・整形外科を10時に受付し、診察終了が14時30分。複数の診療科を受診すると1日がかりになる。
- ・会計の方法が変わってから、待ち時間が長くなったように思う。

#### 施設管理について(4件)

- ・院内表示がわかりづらい
- ・病室の洗面設備の点検をしてほしい。
- ・病室の読書灯をアーム型にほしい。
- ・ラジオを聴けるようにしてほしい。

#### 院内連携について(2件)

- ・病棟クラークを配置しているが、特に退院時の連絡体制が機能していない。
- ・退院時に薬を2時間待った。きちんとしてほしい。

#### 入院生活について(1件)

- ・入院患者の私物がなくなる。

#### 医療安全について(1件)

- ・退院時に薬を持ってきてくれたが、別の人の薬だった。

感謝(1件)、その他(1件)のご意見があり、合計26件でした。



## 季節の食卓

～栄養科～

「夏を彩るピーマン」  
 高知の特産品の一つであるピーマンはほとんどの季節を問わず手に入りますが、本来の旬は6月～8月の時期です。緑色のものは未熟なうちに収穫したもので、完熟させると赤ピーマンになります。一般的なピーマンはやや青臭みや苦味があるのに対し、カラフルで皮が厚いパプリカは甘味があります。

ピーマンが豊富で、その量はレモンに匹敵します。また、ビタミンCの酸化を防いで吸収を助けるビタミンDも含むので、加熱しても壊れにくいのが特徴です。疲労回復や肌荒れ予防になります。

中華料理やイタリア料理でも、炒め物・焼き物・マリネなどにたっぷり使われています。トマトや茄子などの夏野菜と合うので、一緒に煮たり炒めたりすると良いでしょう。



## 研修予定

### 《病院職員向け》

- 7月25日 スキンケア研修
- 7月25日 MCカンファレンス
- 7月27・28日 南海地震対策研修
- 8月1日 ACLS研修
- 8月1日 スキンケア研修
- 8月9日 感染対策研修
- 8月15日 人工呼吸器取扱い研修

### 《患者様向け》

- 8月2日 糖尿病教室（検査と治療目標）
- 8月4日 母親学級（栄養・妊娠中の異常・母子相互作用）
- 8月11日 母親学級（妊婦体操・お産の準備・赤ちゃんのお話）
- 8月16日 糖尿病教室（インスリン療法）



## 医師の異動

### 循環器科

山田 英介医師が代わり、山中 伸悟医師が赴任しました。

### 小児科

森田 英雄副院長が転出しました。後任の医師は、8月1日付で赴任予定です。

## 幡多けんみん病院における、患者さんの権利

1. 患者さんは、良質な医療を、平等に受ける権利をもっている。
2. 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
3. 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
4. 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
5. 患者さんは人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。

